

4 地域支援センター事業

地域における高齢者・障害者等に対して、適切なリハビリテーションサービスの円滑な提供に向け、関係機関の連携方策や全県的な立場で地域を支援する「神奈川県リハビリテーション支援センター」として、地域におけるリハビリテーションの体制の充実を図るための業務を行っている。

平成20年度は、地域リハビリテーション支援業務を行うとともに、「高次脳機能障害支援普及事業」の支援拠点機関として、地域の相談体制の整備や研修に取り組んだ。

(1) 県リハビリテーション支援センター事業

ア リハビリテーション情報の提供

県内のリハビリテーション関係機関等に関する情報を、地域支援センターホームページに掲載し、情報の提供を行っている。

平成20年度は、高次脳機能障害支援の普及・啓発を目的に、新たに「病气事故のあとこんな症状はありませんか？」を、リハビリテーション専門研修会の開催情報とあわせてホームページに掲載し、利用者に必要な情報の提供に努めた。

イ リハビリテーション専門相談

リハビリテーション専門相談は、リハビリテーションを必要とする高齢者・障害者が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう支援センターの専門スタッフがリハビリテーションの立場から市町村及びリハビリテーション関係機関等と協働して総合相談・情報提供・技術支援などの支援活動を実施するものである。平成20年度の相談件数は201件で内容は次のとおりである。

表1 相談依頼元の相談件数

区 分	件数	構成比
地域相談窓口	28	13.8%
市町村	18	9.0%
居宅介護支援事業所	33	16.4%
本人・家族	33	16.4%
医療機関（外来含）	29	14.4%
保健福祉事務所	18	9.0%
訪問看護ステーション	17	8.5%
障害者施設	12	6.0%
介護老人福祉施設	3	1.5%
県社会福祉協議会	2	1.0%
家族会	1	0.5%
その他	7	3.5%
合計	201	100.0%

表2 保健福祉圏域別の相談件数

区 分	件数	構成比
横浜	11	5.5%
川崎	4	2.0%
横須賀・三浦	12	6.0%
県央	76	37.8%
湘南東部	11	5.5%
湘南西部	34	16.9%
県西	6	3.0%
県北	19	9.5%
その他（不明等）	28	13.8%
合計	201	100.0%

表3 障害別の相談件数（重複）

区 分	件数	構成比
神経難病	54	24.7%
脊髄障害	46	21.0%
脳血管障害	35	16.0%
小児疾患	28	12.8%
骨・関節疾患	16	7.3%
成人外傷性脳損傷	11	5.0%
不明	6	2.7%
その他（低酸素脳症等）	23	10.5%
合計	219	100.0%

表4 相談内容別の相談件数（重複）

区 分	件数	構成比
福祉機器・用具	74	21.9%
リハ訓練	70	20.6%
看護・介護方法	57	16.8%
福祉サービス・社会資源	32	9.4%
住宅改修	24	7.1%
補装具	27	8.0%
医療	22	6.5%
就労・教育等	11	3.2%
医療機関紹介	4	1.2%
家族支援	5	1.5%
経済	3	0.9%
その他	10	2.9%
合計	339	100.0%

ウ リハビリテーション研修事業

研修事業は、地域でリハビリテーション・サービスに携わる理学療法士、作業療法士、言語療法士、保健師、看護師、ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、介護職員、福祉施設支援員などの専門職員に対し、リハビリテーションに関する技術的指導や援助方法等の研修を次のとおり実施した。

○リハビリテーション研修事業の実施状況

区 分	開 催 日	定員	申込者数	受講者数	延数	評価/5点	
1	OT研修 ハンドリッグ入門	4月12日(土)	50人	64人	56人	56人	4.8
2	摂食・嚥下障害のリハ	5月31日(土)	80人	101人	88人	88人	4.2
3	脳卒中のリハ	6月6日(金) 7日(土)	30人	35人	27人	53人	4.5
4	機能訓練指導員研修	7月3日(木) 4日(金) 5日(土)	40人	60人	44人	127人	4.4
5	知的障害・発達障害のリハ	8月20日(水) 21日(木)	20人	28人	26人	49人	4.6
6	高次脳機能障害セミナー(理解編)	8月25日(土)	250人	298人	246人	246人	4.2
7	住宅改造・改修セミナー	9月12日(金) 13日(土)	40人	52人	36人	69人	4.1
8	ケアマネジャー支援研修(基礎編)	9月23日(火)	60人	81人	68人	68人	4.3
9	脊髄損傷のリハ(理解編)	10月7日(火)	50人	28人	24人	24人	4.4
10	脊髄損傷のリハ(実務編)	10月11日(土)	30人	29人	26人	26人	4.6
11	(新)車いすシーティングの理論と実際	10月18日(土)	50人	60人	53人	53人	4.3
12	(新)在宅での排泄ケア	11月1日(土)	80人	39人	33人	33人	4.4
13	PT研修 移動動作の援助	11月8日(土) 9日(日)	24人	21人	21人	41人	4.7
14	高齢者・障害者の排泄	12月4日(木)	50人	99人	86人	86人	4.4
15	ケアマネジャー支援研修(実務編)	12月12日(金) 13日(土)	30人	40人	35人	70人	4.3
16	介護予防事業の展開セミナー(1)	12月20日(土)	40人	48人	36人	36人	4.4
17	介護予防事業の展開セミナー(2)	1月17日(土)	40人	54人	47人	47人	4.3
18	(新)公共交通従事者研修	1月27日(火)	50人	14人	14人	14人	4.6
19	(新)身体障害者の就労支援	1月31日(土)	40人	49人	40人	40人	4.3
20	高次脳機能障害セミナー(実務編)	2月7日(土)	50人	81人	69人	69人	4.3
21	包括的ケアマネジメント研修	2月19日(木)	20人	6人	6人	6人	4.6
22	かながわりハビリテーションフォーラム	2月22日(日)	200人	224人	181人	181人	4.1
23	就労支援機関活用のための講習会	3月7日(土)	50人	65人	55人	55人	4.5
24	PO・PT研修	3月20日(金)	80人	79人	68人	68人	4.4
合 計	延31日間	1,454人	1,655人	1,385人	1,605人	4.4	

(注) 太字は神奈川県からの委託研修である。

エ 「かながわ地域リハビリテーション・フォーラム」の開催

第5回：平成21年2月22日開催 場所：総合医療会館、参加人員：210人

区 分	内 容
1 特別講演	座長：伊藤 利之（横浜市総合リハビリテーションセンター顧問） (1)「小さ過ぎる政府の社会保障と政府の利用価値」 権丈 善一（慶応義塾大学商学部教授） (2)「リハビリテーション医療制度の課題と提言」 ～ 2008年診療報酬・2009年介護報酬改定を中心として ～ 二木 立（日本福祉大学教授）
2 シンポジウム	テーマ：「神奈川県における地域リハビリテーションの現状と課題」 座長：大橋 正洋（神奈川県リハビリテーション支援センター所長） (1) 訪問看護ステーションから 高砂 裕子（横浜市南区メディカルセンター訪問看護ステーション） (2) 地域で活動する理学療法士から 露木 昭彰（足柄リハビリテーションサービス） (3) リハビリテーション支援センターから 生方 克之（神奈川県リハビリテーション支援センター）

(2) 地域リハビリテーション人材共同確保システムへの支援事業
 本事業は、平成8年度から「かながわ高齢者保健福祉計画」に基づき、市町村における保健福祉人材の養成・確保を目指して、人材供給医療機関及び神奈川県との連携協力のもとに、市町村が理学療法士、作業療法士を共同で確保し、市町村に派遣する事業である。

区 分	計
南足柄市	25回
大井町	84回
開成町	33回
山北町	25回
合計	167回

(3) 高次脳機能障害支援普及事業

障害者自立支援法に基づく 高次脳機能障害者の支援拠点機関として 高次脳機能障害支援普及事業を行っている。

ア 神奈川県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会

高次脳機能障害者に関する地域支援ネットワークの充実を図るため、神奈川県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会を開催した。

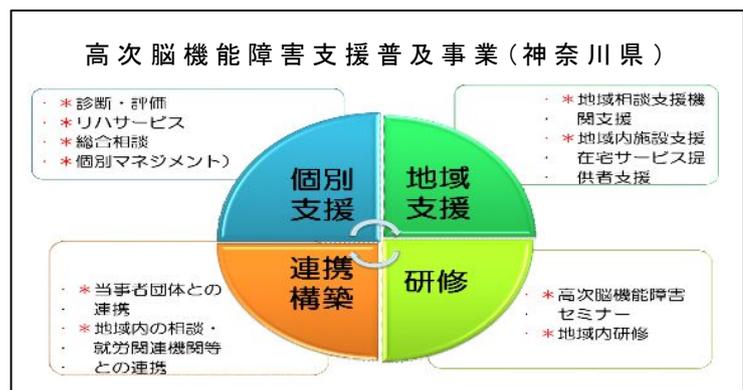
- 日時：平成21年1月16日 15:00～17:00 場所：横浜市教育会館
 (委員会の構成員)

区 分	所 属
学識経験者	東海大学文学部心理・社会学科教授
県の機関	障害福祉課、福祉監査指導課、精神保健福祉センター、総合療育相談センター
国の機関	障害者職業センター
横浜市	横浜リハセンター
川崎市	川崎市障害者更生相談所
当事者団体	○ NPO 法人脳外傷友の会ナナ
医療機関	東海大学医学部附属病院 総合相談室
職能団体	OT協会代表、障害者ケースワーカー協会代表
サービス提供事業所	愛名やまゆり園、藤沢障害者自立生活支援センター、アガペ老番館
リハセンター	◎ 地域支援センター所長ほか1名
計	17名

◎委員長, ○副委員長

イ 拠点機関の支援内容の概要

地域支援センターでは、高次脳機能障害相談支援コーディネーターを2名配置し、個別支援、地域支援、研修、地域連携を柱とした事業を実施している。



(ア) 個別支援の状況

表1 相談依頼元の相談件数

区 分	件数	構成比
本人・家族	219	62.7%
医療機関(外来含)	55	15.7%
地域相談窓口	23	6.6%
障害者施設	12	3.4%
市町村	11	3.2%
保健福祉事務所	9	2.6%
居宅介護支援事業所	7	2.0%
家族会	3	0.9%
訪問看護ステーション	1	0.3%
介護老人福祉施設	1	0.3%
その他	8	2.3%
合計	349	100.0%

表2 保健福祉圏域別の相談件数

区 分	件数	構成比
横浜	63	18.1%
川崎	17	4.9%
横須賀・三浦	28	8.0%
県央	42	12.0%
湘南東部	27	7.7%
湘南西部	46	13.2%
県西	16	4.6%
県北	27	7.7%
その他(不明等)	83	23.8%
合計	349	100.0%

表3 障害別の相談件数（重複）

区 分	件数	構成比
成人外傷性脳損傷	224	55.2%
脳卒中	108	26.6%
小児脳損傷	37	9.1%
神経難病	4	1.0%
不明	13	3.2%
その他（低酸素脳症等）	20	4.9%
合計	406	100.0%

表4 相談内容別の相談件数（重複）

区 分	件数	構成比
就労・教育等	539	22.3%
リハ訓練（通プロ含）	501	20.7%
福祉サービス・社会資源	427	17.7%
経済	402	16.6%
家族支援	235	9.7%
医療	194	8.0%
医療機関紹介	45	1.9%
看護・介護方法	60	2.5%
補装具	4	0.2%
福祉機器・用具	5	0.2%
住宅改修	1	0.1%
その他	3	0.1%
合計	2,416	100.0%

(イ) 研修会の開催

研修名	対象者	開催日	開催場所
高次脳機能障害セミナー（理解編）	限定無し	8月23日（土）	神奈川県総合医療会館
高次脳機能障害セミナー（実務編）	医療・福祉・職業・行政等の分野で障害福祉にかかわっている者及び当事者家族	2月7日（土）	厚木シティプラザ
就労機関活用のための講習会	MSW, P SW, 相談支援従事者、ハローワーク等の職員	3月7日（土）	ウイリング横浜
高次脳機能障害者の支援	地域支援関係者等	5月17日（土）	貴志園
高次脳機能障害者の理解	施設職員等	5月28日（水）	足柄療護園
高次脳機能障害児への療育	川崎市養護教諭	8月1日（金）	神奈川リハ病院
高次脳機能障害者の理解	相模原市施設オンブズマン	10月17日（金）	松が丘園
高次脳機能障害者の地域支援	秦野市相談支援事業者	10月29日（水）	秦野市役所
高次脳機能障害者の支援	湘南東部地区相談支援担当者	10月31日（土）	サービスセンターばる
高次脳機能障害者の相談支援	県精連県央ブロック会員	1月31日（土）	厚木パートナーセンター
高次脳機能障害者の理解	藤沢市内サービス事業者	3月22日（日）	藤沢市役所

(ウ) 連携構築

a 政令指定都市との連携

政令指定都市在住者への支援が多いことなど政令指定都市内の中心的機関との連携支援の必要が高い状況にある。そのため、横浜市総合リハビリテーションセンター、川崎市北部リハビリテーションセンターと定期的な情報交換会を実施した。

開催日	開催場所	参加機関
6月17日（火）	横浜市総合リハセンター	・横浜市総合リハセンター（SW） ・川崎市北部リハセンター（SW 保健師） ・神奈川リハ支援センター（コーディネーター）
9月10日（水）	横浜市総合リハセンター	
1月30日（金）	川崎市北部リハセンター	

b 自立支援協議会との連携

高次脳機能障害者支援の広域的・専門的相談支援機関として圏域相談支援事業所調整会議および保健福祉圏域自立支援協議会へ参加している。

○ 障害者保健福祉圏域相談支援事業所調整会議

日時	場所
4月25日（金）	愛名やまゆり園
6月11日（水）	大和市ふれあいプラザ
8月12日（火）	第一三共ハピネス株式会社
12月18日（木）	藤沢市保健所
3月3日（火）	小田原合同庁舎

○ 障害者保健福祉圏域・市町村自立支援協議会

日時	場所
7月15日（火）	湘南西部圏域自立支援協議会
7月23日（水）	横須賀・三浦圏域自立支援協議会
10月10日（金）	湘南西部圏域自立支援協議会
10月29日（水）	はだの障害福祉ネットワーク担当者会議
2月25日（水）	湘南西部圏域自立支援協議会

c 当事者団体との連携

当事者団体との連携は、NPO法人脳外傷友の会「ナナ」の協力を得て神奈川リハビリ病院内の協働事業室にて入院・外来利用者などを対象にピアサポート支援や本人の活動支援を行い、必要に応じて地域支援センターと連携した研修や個別支援を行っている。

協働事業室利用者数	相談件数	本人活動支援
1,408	139	483

(4) 神奈川県高次脳機能障害者地域支援推進検討事業

平成20年度は、横須賀・三浦地区保健福祉圏域を対象に高次脳機能障害者支援に関する調査および当該地域内の支援体制整備に向けた取組みを行った。

ア 支援体制整備に向けた取組み

高次脳機能障害支援システム検討委員会開催

- (ア) 平成20年8月27日 14:00～16:00 横須賀市ウェルシティ市民プラザ
- (イ) 平成21年3月10日 14:00～16:30 横須賀市ウェルシティ市民プラザ

(委員会の構成員)

区 分	所 属
学識経験者	◎ 神奈川県保健福祉大学
保健所	横須賀保健福祉事務所、鎌倉保健福祉事務所
当事者団体	マリン横須賀
地域医療	福井記念病院
就労支援機関	横須賀市就業・生活支援センター
サービス提供事業所	湘南の凧、地域生活サポートセンター、地域作業所久里浜障害者支援センター他1名
地域自治体	三浦市役所障害福祉課、逗子市福祉部福祉課、鎌倉市障害者福祉課、葉山町福祉課
神奈川県	福祉監査指導、障害福祉課
リハセンター	○ 神奈川リハ病院医療福祉総合相談室2名
計	19名

◎委員長, ○副委員長

イ 横須賀・三浦地区高次脳機能障害講習会（横須賀・三浦地区対象）

- (ア) 2008.12.10 14:00～16:30 横須賀市ウェルシティ市民プラザ

参加者 90名

講演「高次脳機能障害の医学的理解（福井記念病院院長 高屋淳彦）」

「高次脳機能障害の相談支援（神奈川県リハ支援センター 瀧澤学）」

- (イ) 2009.2.4 13:30～16:00 鎌倉芸術館

参加者 55名

講演「高次脳機能障害の地域支援（クラブハウスすてっぷなな所長 野々垣睦美）」

「高次脳機能障害の就労支援（就労支援センターぼけっと 渡辺直人）」

ウ 調査の実施

(ア) 支援の実態調査

神奈川県横須賀・三浦地域における、高次脳機能障害の支援の現状と今後の取組みの方向性を見いだすため、障害福祉サービス事業所に対する高次脳機能障害者支援実態調査を行った。

(イ) 当事者の調査

高次脳機能障害者が、受傷から社会参加へのプロセスのなかで生じる課題とそれを解決するための取組みの方向性を見いだすため、当事者から聞き取り調査を行った。